Vestax

PROFESSIONAL USB MIDI CONTROLLER

TR-1

取扱説明書

〒154-0023
東京都世田谷区若林1-18-6
電話 03-3412-7011　　ファックス 03-3412-7013
Web:www.vestax.jp E-Mail:cs@vestax.jp

Head Office
1-18-6 Wakabayashi, Setagaya-ku, Tokyo 154-0023 Japan
Phone: 81-(0)3-3412-7011 Fax: 81-(0)3-3412-7013
Web:http://www.vestax.com/

Vestax Grobal Support
csg@vestax.jp

Vestax Europe Support
cse@vestax.jp

ごあいさつ

この度は、Vestax TR-1をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。本機の性能を最大限に発揮させると共に、末永くご愛用いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。

目　次

●ご使用上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
●安全上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
●本機の特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
●同梱品一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
●最低必要動作環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
●各部の名称と機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
●コンピューターとの接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
●「TRAKTOR LE」のインストール・MIDIマッピング・・・・・・・・・・・・・10
●アクティベーション方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
●トラブルシューティング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
●Specification・保証とアフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・17

ご使用上の注意

電源について

●雑音を発生する装置(モーター、調光器など)や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
●接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

●この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
●テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

●通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
●変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
●故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製スプレーは使用しないで下さい。

修理について

●お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
●当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
●本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方(過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等)をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

その他の注意について

●スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意下さい。
●ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体(頭の部分)を持って行うようにして下さい。
●音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上の注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。

警告 この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

電源プラグをコンセントから抜け

● 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

分解禁止

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

指を挟まれないよう注意

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠ 警　告

電源プラグを
コンセントから抜け

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
●万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水槽での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注　意

電源プラグを
コンセントから抜け

●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
● USB機器はUSBケーブルを端子から抜いてから行ってください。

●オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
●電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

●調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となるこたがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

ベスタクスTR-1はHIROSHI WATANABE氏の協力を得て、Native Instruments社Traktor Proのコントローラとして使用することを前提に開発されました。各コントロール部はTraktor Proでの使用に最適化して設計されておりますので、お買い上げ後、MIDIマッピングファイル(tsiファイル)をインポートしていただければすぐにTraktor Proコントローラとしてご使用いただけます。TR-1の持つ様々な機能を充分にご活用いただくためにも、本マニュアルをお読み頂きますようお願い申し上げます。

※　TR-1専用のMIDIマッピングファイル(tsiファイル)を読み込むことで各機能へのマッピングが行われます。
tsiファイルはVestax webサイトでダウンロードしてください。
http://help.vestax.co.jp/ja/

同梱品一覧

- 本取扱説明書
- USBケーブル
- 「TRAKTOR LE」インストール・ディスク
- Vestaxロゴシール

※電源アダプターは付属しておりません。

最低必要動作環境

●TRAKTOR LE ソフトウェアの動作に必要な環境(Win/Mac共通)
オーディオインターフェイス(ASIO又はCoreAudio対応製品)
QuickTime6.5以降
インターネット接続環境

＜Windows＞
Windows XP(SP2以降)
Windows Vista(SP1以降)

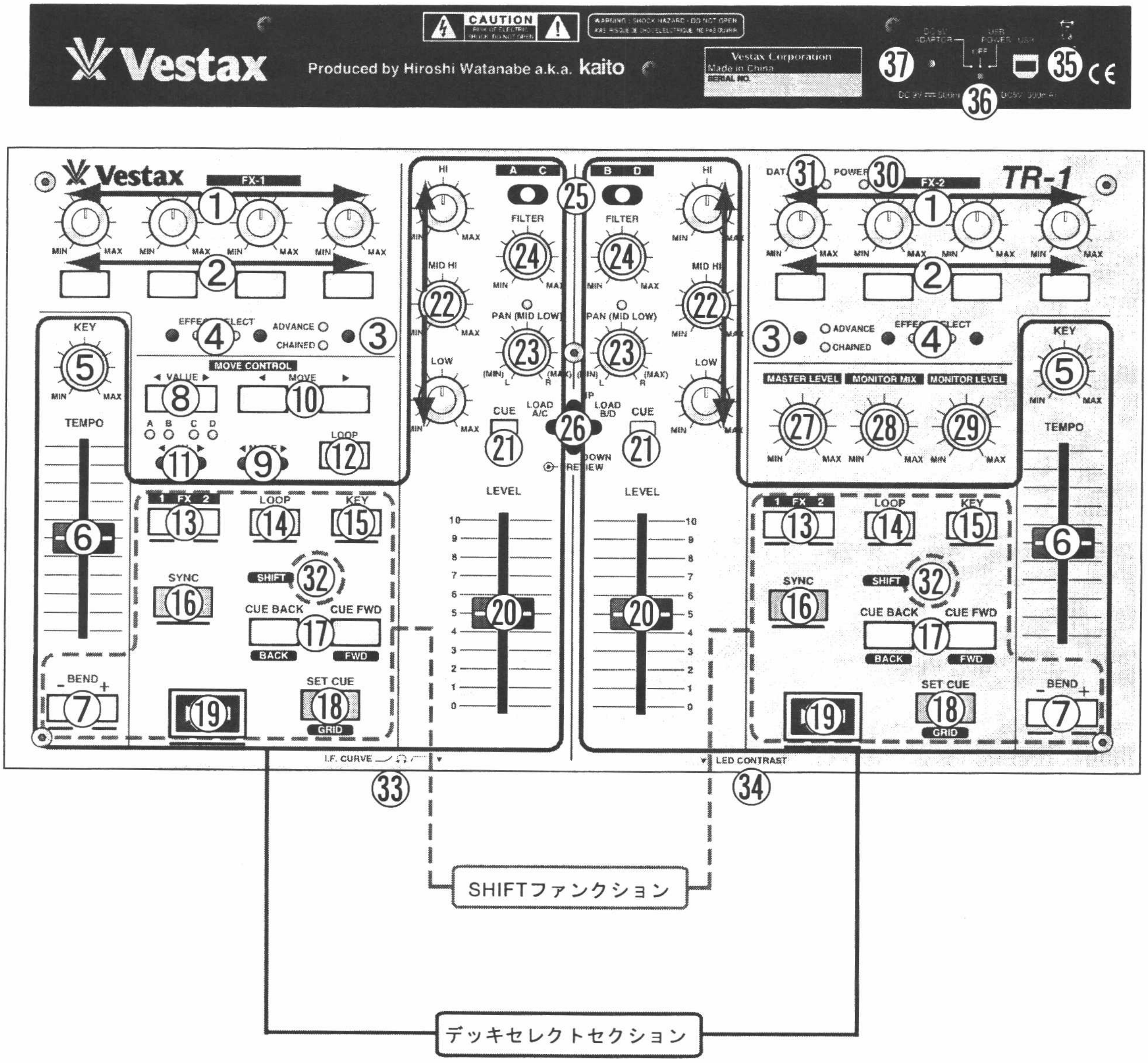
CPU：1.4GHz以上のCPU
RAM：1GB以上のRAM
USBポート(USB2.0 Compatible)

＜Macintosh＞
Mac OS X 10.4以降(10.5対応)
CPU：Intel Core Duo 1.66GHz 以上のCPU(PowerPC G4,G5では動作致しません)
RAM：1GB以上のRAM
USBポート(USB2.0 Compatible)

※コンピューター本体のUSBのご使用を推奨します。USBハブは動作保障外となります。
上記条件を満たしていても、すべてのコンピューター及びデバイスでの動作を保証するものではありません。

各部の名称と機能

※ここで紹介する各部の機能はNative Instrument社のTraktor Proの機能を基本にしています。
専用のtsiファイルを読み込むことで各機能へのマッピングが行われます。tsiファイルはVestax webサイトでダウンロードしてください。
http://help.vestax.co.jp/ja/



●トップパネルセクション

1.エフェクトコントロールノブ:FX1、FX2に設定したエフェクトのパラメータをコントロールします。

2.エフェクトコントロールボタン:FX1、FX2に設定したエフェクトの4つのパラメータのオン/オフを設定します。エフェクトコントロール・ノブの下に対応するボタンがONになっていないと、パラメータを反映できません。

3.エフェクトモードセレクトボタン:エフェクトのモードを「CHAINED」にするか「ADVANCE」にするか決定します。「CHAINED」モードは一度に3種類のエフェクトを機能させることができ、「ADVANCE」モードは一つのエフェクトの機能の調整を細かく設定することができます。

4.EFFECT SELECTボタン:FX1またはFX2で使用するエフェクトの種類を選択します。CHAINEDモードの場合、一番上のエフェクトのみの選択となります。

5.KEYノブ:KEYボタンが有効になっている時、TEMPOの設定に関わらず再生している曲の音程をコントロールします。

6.TEMPOフェーダー:再生しているデッキのテンポを調整します。

7.BENDボタン:±1.6%でテンポを上下させます。デッキをミックスする際の微調整時に使用します。

8.VALUEボタン:ループを機能使用時のループサイズを設定します。1/32拍から32拍までの範囲で設定できます。(4/4の場合 8小節=32拍)

9.MODEセレクトボタン:MOVE機能のモードの選択を行います。「BeatJump」、「Loop」、「Loop In」、「Loop Out」の4つのモードを選択できます。

10.MOVE コントロールボタン:設定されたモードに準じて、ポイントに移動します。

BeatJump:設定した移動サイズ範囲で、デッキ内の再生する位置を前後移動します。

Loop:設定した移動サイズ範囲で、ループ全体を前後移動します。

Loop In:設定した移動サイズ範囲で、Loop Inポイントを前後移動します。

Loop Out:設定した移動サイズ範囲で、Loop Outポイントを前後移動します。

11.CHセレクトボタン:コントロールするデッキを選択します。

12.Loopボタン:CHセレクトボタンで選択したデッキのループ機能のオン/オフをします。

13.FX1/2ボタン:FX1/2のエフェクトを指定のデッキにアサインします。

14.LOOPボタン:デッキごとのループ機能をオン/オフします。

15.KEYボタン:このボタンが有効時、TEMPO・フェーダーを使用して曲のテンポを変える際、音程を変えずにテンポを変えることができます。

16.SYNCボタン:マスターデッキのテンポに､指定した曲のテンポを自動で合わせることができます。

17.CUE BACK･CUE FWDボタン:設定したCUEポイントまで前後に移動できます。

18.SET CUEボタン:CUEポイントを設定します。

19.PLAY/PAUSEボタン:曲の再生/一時停止をします。

20.LEVELフェーダー:各デッキの音量をコントロールします。

21.CUEボタン:デッキごとにヘッドフォンでモニターしたい場合､CUEボタンをオンにするとそのデッキの曲をモニターできます。

22.EQノブ:通常は3バンドタイプのイコライザーをコントロールします。

HI:高域の増減をコントロールします。

MID or MID HI:中域､または中高域の増減をコントロールします。

(MID LOW)：SHIFTボタンを同時に押すと青いLEDが光り、MID LOWとして動作します。

LOW;低域の増減をコントロールします。

23.PANノブ:デッキの音のL/Rバランスを調整します。

※両デッキのSHIFT・ボタン(32)を同時に押すと4バンド・イコライザー時の中低域のコントロールになります。この場合、「Preferences」ページの「Mixer」をクリックし、「EQ Selection」が「Xone」を選択している必要があります。通常では3バンドの「Classic」が選択されています。

24.FILTERノブ：フィルターがオンになっているとき、フィルターのコントロールをします。

25.デッキセレクトスイッチ：コントロールするデッキを選択します。スイッチを切り替えることにより、合計4つのデッキをコントロールできます。左側はAとC、右側はBとDデッキを選択します。

26.LOADセレクトジョイスティック：上下に動かすことでブラウザ内の曲を選択し、左に倒すとA/Cのデッキへ、右に倒すとB/Dのデッキへ曲を読み込ませます。スティックを押し込むことで選択した曲のプレビューのオン/オフが可能です。

27.MASTER LEVELノブ：マスターアウトの音量を調整します。

28.MONITOR MIXノブ：マスターアウトとCUEをモニターする際に、2つの音量バランスを調整します。

29.MONITOR LEVELノブ：モニター（CUE）のレベルを調整します。

30.POWER LED：電源がオンの状態に点灯します。

31.DATA SEND LED：TR-1を操作したとき、MIDI信号が正常に送信されている場合に点灯します。このLEDが　点灯していない場合、電源、または本体の故障やパーツの消耗等の可能性があります。トラブルシューティ　ングの項をお読みになり、対応しても直らない場合はお近くの楽器店に修理を依頼してください。

32.SHIFTボタン：SHIFT・ボタンを押しながら指定のボタンを押すことにより、指定の機能を呼び出すことができます。

- SHIFT+14/15, ビートグリッドマーカー・ボタン：あらかじめ配置されたビートマーカーを、手動で前後に微調整することができます。

- SHIFT+17, ポジションシーク・ボタン：曲をスキップして、再生したいポジション、またはCUEポイントを設定したいポジションまで、少しずつスキップしながら移動します。

- SHIFT+19, CUE PLAY・ボタン：SET CUEで指定したCUEポイントから再生します。

- SHIFT+18, オートグリッド・ボタン：カレントキューポイントにビートマーカーを設置することが可能です。

●フロントパネルセクション

33.I.F.CURVEコントロール：LEVELフェーダーの音量の上がり方(カーブ)をコントロールします。左に絞った状態で後半で急激なカーブを、右に絞った状態で前半に急激なカーブが来るように設定されます。

34.LED CONTRASTコントロール：トップパネル上にあるボタンのLED照度を調整します。左に回すと暗く、右に回すと明るくなります。

●リアパネルセクション

35.USBポート：コンピューターのUSB端子と接続してソフトウェアのコントロールを行う信号を送受信したり、USBバスパワーによる電源を受けたりします。

36.電源セレクター：TR-1電源スイッチです。専用DCアダプター(別売)を使用する場合は「DC 9V ADAPTOR」へ、専用DCアダプターを使用せずにコンピュータのUSB端子から供給される電源（USBバスパワー）を利用する場合は、「USB BUS POWER」へ切り替えます。

37.電源アダプター接続ポート：専用DCアダプターを接続して電源を供給します。

コンピューターとの接続

●Windowsの場合

1.TR-1とコンピューターをUSBケーブルで接続します

2.TR-1背面の電源セレクタースイッチを切り替えます。専用DCアダプターを使用する場合は「DC 9V ADAPTOR」へ、USBバスパワーを使用する場合は「USB POWER」へ切り替えるとTR-1のPOWER LEDが点灯し電源がONの状態になります。

※ご注意：コンピューターのUSB端子へ直接接続せずに、USBハブをご使用になる場合や、コンピュータ自体の電源容量が十分ではない場合は、安定した動作を確保するためにも必ず専用のDCアダプター(別売り)をご使用ください。

Windows上では、まず”新しいハードウェアが見つかりました。"と表示され、次に[TR-1]、[USB複合デバイス]、[USBオーディオデバイス]のドライバーが自動的にインストールされていきます。（２回目以降の接続や、すでにドライバーがインストールされている場合には上記メッセージが表示されない場合もあります。）

3.ドライバーがインストールされ、正常に認識されている場合にはツマミ、フェーダー等を動かすと「DATA SEND」LEDが点灯することを確認できます。

4.Windows上での確認方法は、「コントロールパネル」＞「システム」＞「ハードウェア」＞「デバイスマネージャー」でUSBコントローラの項目の中に「USB複合デバイス」（プロパティで、”場所 TR-1”）が表示され、デバイスの状態が「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されれば、コンピューターとTR-1の接続は正常に行われています。

●Macintoshの場合

1.TR-1とコンピューターをUSBケーブルで接続します。

2.TR-1背面の電源セレクタースイッチを切り替えます。専用DCアダプターを使用する場合は「DC 9V ADAPTOR」へUSBバスパワーを使用する場合は「USB POWER」へ切り替えます。TR-1のPOWER LEDが点灯します。

※ご注意：コンピューターのUSB端子へ直接接続せずに、USBハブをご使用になる場合や、コンピュータ自体の電源容量が十分ではない場合は、安定した動作を確保するためにも必ず専用DCアダプターをご使用ください。

3.正常に認識されている場合にはツマミ、フェーダー等を動かすと「DATA SEND」LEDが点灯します。

4.Macintosh本体で認識しているか確認する場合には「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」を開き、「Audio MIDI設定」を起動します。「MIDI装置」タブをクリックして写真のように「TR-1」が表示されます。「TR-1」のアイコンをクリックしてプロパティを確認しましょう。

装置名：TR-1　　製造元：Vestax　　機種：TR-1

と表示されていればOKです。

「TRAKTOR LE」のインストール・MIDIマッピング

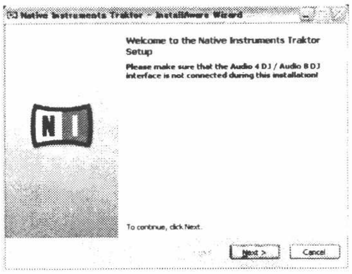
付属のソフトウェア「TRAKTOR LE」をインストールします。
なおTRAKTOR PRO、TRAKTOR DUOをご利用される方はTRAKTOR LEのインストールは不要ですが、Vestax webサイトからtsiファイルをダウンロードし、機能のアサインを行ってください。

●Windowsの場合

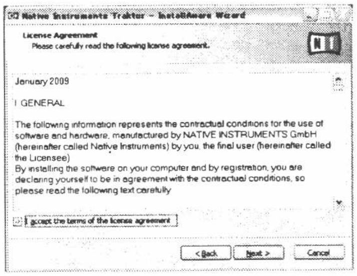
1-1. 付属のCD-ROMをドライブに挿入して下さい。

2-1. 「Traktor 1.1.2 Setup」をクリックしてインストーラーを起動します。

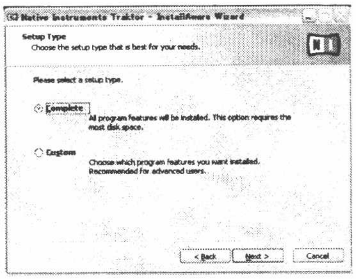
2-2. 解凍が終わり、インストーラーが立ち上がったら、「Next」をクリックします。



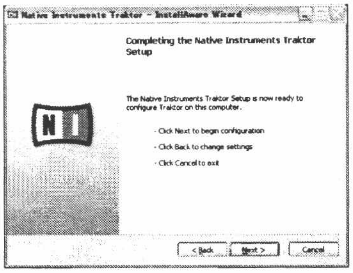
3-1. 使用許諾についての案内が出るので左下のチェックボックスにチェックを入れ、「Next」をクリックします。



4-1. インストールの方法を選択する画面が現れるので、「Complete」を選択して「Next」をクリックします。その後Native Instruments社製インターフェイスのドライバーをインストールする選択画面が現れます。必要であれば、チェックを入れて「Next」をクリックして下さい。

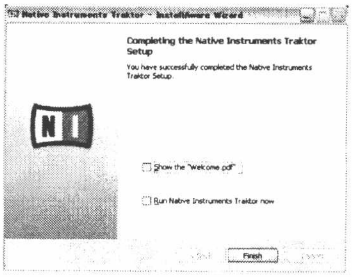


5-1. これまで入力したインフォメーションを確認する画面が現れるので、確認してOKであれば「Next」をクリックして下さい。



6-1. インストールが始まるので終了するまでお待ちください。

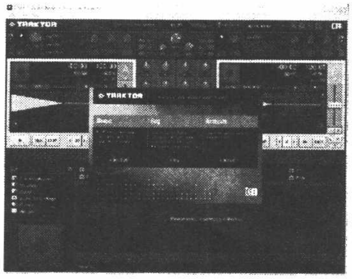
7-1. インストールが終了するとこのような画面が現れます。「Welcome」を読みたい場合やすぐに「Traktor」を起動させたい場合は、必要なチェックボックスにチェックを入れて「Finish」をクリックしてインストーラーを終了して下さい。



8-1. 「Traktor」を起動させると初回はこのような画面が現れます。目的に応じて選択をしてください。

・「Run Demo」・・・デモ版で使用する場合
・「Buy」・・・オンラインにて「Traktor」を購入する場合
・「Activate」・・・アクティベートを行う場合

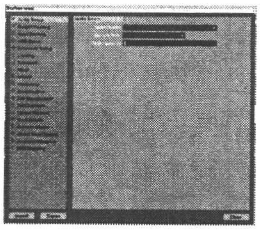
※付属ソフトウェア[TRAKTOR LE]を使用する際は、「Activate」を選択しP.14を参照に起動してください。



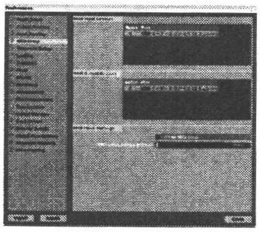
8-2. 初回起動時には「Preference」画面が起動し、様々な設定を行います。

・「Audio Setup」・・・オーディオ・インターフェイスの選択、サンプリング・レートの設定等
・「Output Routing」・・・出力先の設定
・「MIDI Setup」・・・MIDI関連の設定を行います。

※TR-1の認識の設定もここで行います。

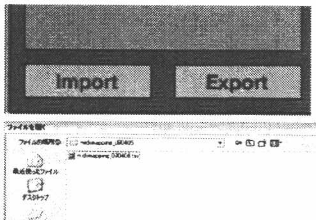


9-1. MIDISetUpをクリックし、TR-1が「Traktor」に認識されているかチェックをします。MIDI Input,Output共に「USBオーディオデバイス」の左側に「×」印のチェックが入っていればOKです。「×」がない場合はダブルクリックでチェックをいれてください。



10-1. TR-1をTraktor PRO,Traktor DUOに対応させるためにはtsiファイル（Traktor Setting Information）を読み込む必要があります。「Preference」の「MIDI mapping」の項目で、ページ左下の「Import」ボタンをクリックし、TR-1用のtsiファイル「ファイル名」を選択するとMIDIアサインが完了します。他のtsiファイルがすでにimportされている場合、まずそのtsiファイルをMIDI mappingから「Delete」してから、TR-1用のtsiファイルをimportするようにしてください。

※TR-1用のtsiファイルはVestax webサイトよりダウンロードができます。
http://help.vestax.co.jp/ja/

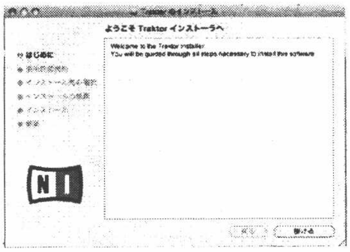


これでTR-1を使用してTracktorをコントロールする準備が整いました。

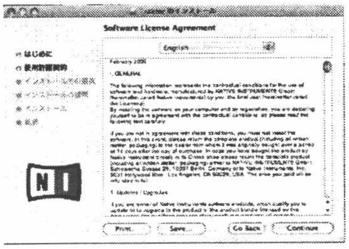
●Macintoshの場合

1-1. 付属のCD-ROMをドライブに挿入してください。
「Tractor 1.1.2 Installer」をクリックしてインストーラーを立ち上げます。

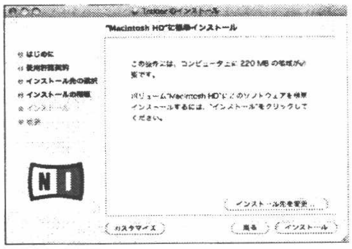
2-1. インストーラーが起動するので、「続ける」をクリックします。



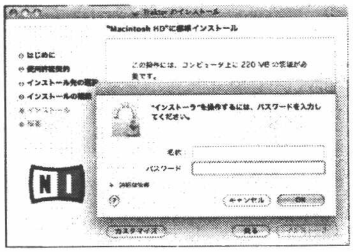
2-2. ライセンス使用許諾画面が現れます。特に問題が無ければ「Continue」をクリックしてインストールを進めましょう。使用許諾に関して同意を求める画面が現れます。同意してインストールを進めるには「Agree」をクリックしましょう。



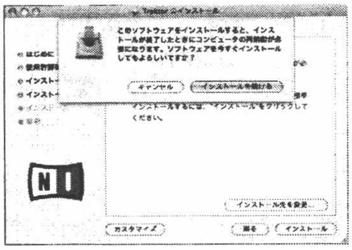
3-1. インストール先の確認をする画面が現れます。通常は「アプリケーション」フォルダを選択しています。複数のハードディスクドライブを接続していたり、違うフォルダにインストールする場合には、右下の「インストール先を変更・・・」をクリックしてインストール先を選択してください。



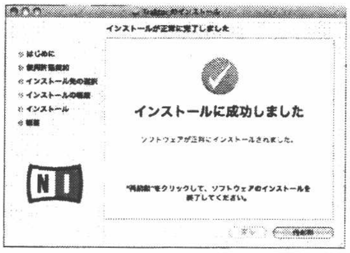
4-1. ソフトウェアをインストールする際にお使いのMacintoshセットアップ時に設定したパスワードを入力します。



4-2. インストールの最終確認があります。「インストールを続ける」をクリックしてインストールを始めましょう。



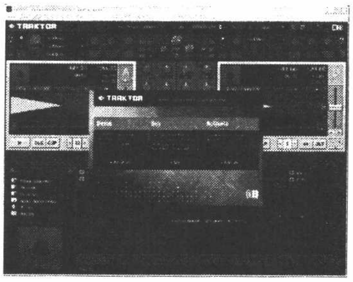
5-2. インストールの終了を知らせる画面が現れたら「再起動」をクリックしてインストールを終了し、コンピューターの再起動を行ってください。



6-1. Mac OS X:HD＞アプリケーション＞Traktorの順で「Traktor」を起動すると初回はこのような画面が現れます。目的に応じて選択をしてください。

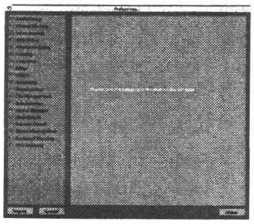
※上記場所はデフォルトのインストール場所です。別途インストール先を指定した場合は上記の限りではありません。

「Demo」・・・デモ版で使用する場合
「Buy」・・・オンラインにて「Traktor」を購入する場合
「Activate」・・・アクティベートを行う場合

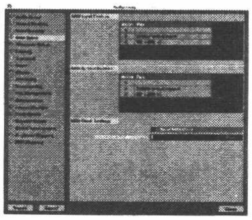


6-2. 初回起動時には「Preferences」画面が立ち上がり、様々な設定を行います。

「Audio Setup」・・・オーディオ・インターフェイスの選択等
「Output Routing」・・・出力先の設定
「MIDI Setup」・・・MIDI関連の設定を行います。
※TR-1を認識させるのもここで行います。

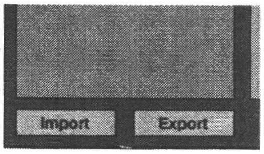


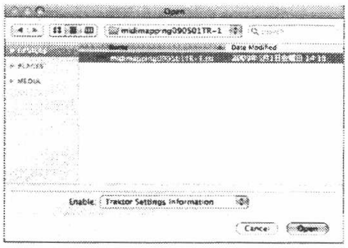
7-1. MIDI SetUpをクリックし、TR-1が「Traktor」に認識されているかチェックをします。 MIDI Input,Output共に「USBオーディオデバイス」の左側に「×」印のチェックが入っていればOKです。



8-1. TR-1をTraktor PRO,Traktor DUOに対応させるためのtsiファイル（Traktor Setting Information）を読み込む必要があります。
「Preference」の「MIDI mapping」の項目で、ページ左下の「Import」ボタンをクリックし、TR-1用のtsiファイル「ファイル名」を選択するとMIDIアサインが完了します。

※TR-1用のtsiファイルはVestax webサイトよりダウンロードができます。
http://help.vestax.co.jp/ja/





これでTR-1を使用してTracktorをコントロールする準備が整いました。

アクティベーション方法

・このガイドは、同梱ソフトTRAKTOR LEのアクティベーション方法を簡単に説明したガイドです。
・このガイドの内容は、製品に付属の「セットアップガイド」をより簡単に説明したガイドです。より詳しい内容は「セットアップガイド」をご参照ください。
・サービスセンターは必ず最新のバージョンをご利用ください。インターネットに接続されたコンピューターでは常に最新のバージョンに保たれますが、ご使用になるコンピューターがインターネットに接続されていない場合は、以下Native Instruments社のWebサイトより最新バージョンをダウンロード、インストールの上ご利用ください。

https://www.native-instruments.com/index.php?id=freeupdates_us

アクティベーション

1. アクティベーションとは

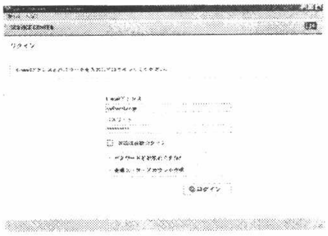
アクティベーションとは、TRAKTOR LEをご使用いただく上で、製品全ての機能をご使用いただくためにメーカーへ登録を行うことを言います。アクティベーションを行わない場合、DEMOモードとして動作します。設定の保存ができない、連続使用時間の制限(30分)等、使用制限があります。アクティベーションを行うとDEMOモードが解除され、一切の制限無くNI製品をご使用いただけるようになります。

2. アクティベーションの方法と種類

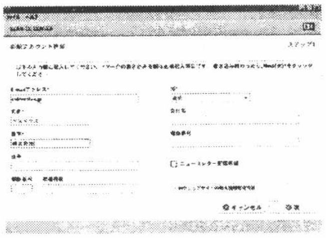
アクティベーションはTRAKTORソフトウェアと一緒にインストールされる「NI Service Center」を使用して行います。このアクティベーションの方法には「オンライン・アクティベーション」と「オフライン・アクティベーション」の2種類があります。ご使用のコンピューターがインターネットに直接接続されている場合は「オンライン・アクティベーション」、ご使用になるコンピューター以外のコンピューター以外のコンピューターがインターネットに接続されている場合は「オフライン・アクティベーション」を使用します。

3.1. オンライン・アクティベート

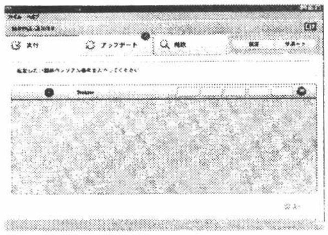
①Service Centerを起動します。
・Windows:スタートメニュー＞NI Service Center＞Service Center
・Mac OS X:HD＞アプリケーション＞NI Service Center＞Service Center
※上記場所はデフォルトのインストール場所です。別途インストール先を指定した場合は上記の限りではありません。



②このコンピューターがインターネットに接続されている場合、ログイン画面が表示されます。Native Instruments社のアカウントをお持ちの場合はユーザーネームとパスワードを入力しログインしてください。お持ちでない場合は、新規ユーザーアカウントを作成を選択し、次へすすみ英語でお客様のメールアドレスや住所氏名などを入力します。これによりお客様専用のアカウントが作成され、ユーザーネームとパスワードがご登録いただいたメールアドレスに送信されます。ユーザーネームとパスワードを確認後、ログイン画面よりログインを行ってください。



③TRAKTOR LEが「未アクティベート」であることを確認し、次へをクリックします。



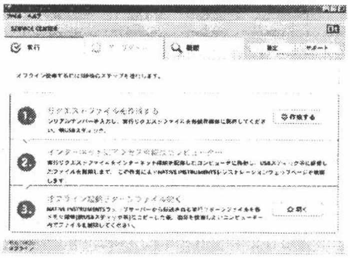
④インストール時に製品のシリアルナンバー入力を求められなかった場合は入力を促されます。製品に付属のシリアルナンバーを入力し「次へ」をクリックします。

⑤TRAKTOR LEが「アクティベート」と変わったことを確認します。これでアクティベートは完了しました。

3.2. オフライン・アクティベート
（使用するコンピューターがインターネットに接続できない場合）

①Service Centerを起動します。
・Windows:スタートメニュー＞NI Service Center＞Service Center
・Mac OS X:HD＞アプリケーション＞NI Service Center＞Service Center
※上記場所はデフォルトのインストール場所です。別途インストール先を指定した場合は上記の限りではありません。

②このコンピューターがインターネットに接続されていない場合、ログインを促す画面が表示されますので、オフラインモードを選択してください。



③シリアルナンバーを入力し、実行リクエストファイルを保存媒体(USBフラッシュメモリ等)に保存してください。

④実行リクエストファイルをインターネット環境を配備したコンピューターに移動し、媒体に保存したファイルを展開します。この作業によりNativeInstrumentsレジストレーションwebページを展開します。

ActivationRequestFile.html

⑤Native Instruments webサーバーから転送される実行リターンファイルを保存媒体にコピーした後、製品を使用したいコンピューター内でファイルを展開してください。

⑥TRAKTOR LEが展開されアクティベートが完了します。

トラブルシューティング

●コンピューターがTR-1を認識しない。

はじめに、音楽や映像ソフトウェアを使ってミックスや編集を行う時には、お使いのコンピューターに複数のUSB機器を接続するのはできる限り避けてください。USBは信頼できるプロトコルですが、音楽や映像マルチメディア・ソフトウェアはコンピューターのプロセッサーやUSBバスに相当な負担をかけます。単一のUSB端子に複数の機器を接続することは理論的に可能ですが、それによりお使いのハードウェアに複雑な問題を引き起こすことがあります。

1：コンピューターがTR-1を認識しない場合、まず最初に接続されているUSB機器の数をできる限り減らし、コンピューターを再起動し、認識するかどうかを確認してください。

2：Windowsの場合、「コントロールパネル」＞「システム」＞「ハードウェア」＞「デバイスマネージャー」を選択し、サウンド、ビデオ、ゲーム・コントローラーの横にある「+」のサインをクリックします。「USB Audio Device」の横に「？」または「！」がついている場合、TR-1をコンピューターから外すとデバイスマネージャーのウィンドウのリストから「USB Audio Device」が消えるか確認します。消える場合には、TR-1を別のUSB端子に接続し、再度「USB Audio Device」表示されて「？」または「！」が消えるか確認します。

3：ソフトウェアがTR-1を使用する設定がされていることを確認します。ソフトウェアの初期設定、またはコントロール設定部を起動し、ソフトウェアのMIDI Setupが「USB Audio Device」を認識して、TR-1のMIDI送信データを受信するように設定されていることを確認します。

4：Macintoshの場合、「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」を開き、「Audio MIDI設定」を起動します。「MIDI装置」タブをクリックして接続されているMIDI機器が表示されます。その中にTR-1が表示されていることを確認してください。「TR-1」のアイコンをクリックしてプロパティを確認してください。「装置名：TR-1」「製造元：Vastax」「機種：TR-1」と表示されていることを確認してください。

5：USBケーブルが適切に接続されていることを確認します。

6：USBハブを使用している場合、TR-1をコンピューターのUSB端子に直接接続して問題が解決できるか確認してください。

●コンピューターから音が出ない。

TR-1はUSB MIDIコントローラーなので、一切の音声データの入出力はありません。コンピューターから音声信号が出力されない場合は、ソフトウェアとコンピューター・ハードウェアのリレーションが正常に行われていない可能性があります。ソフトウェア側のオーディオデバイスの設定確認、またはオーディオ・ドライバーの確認も同時に行ってください。

●TR-1を接続すると音が出ない。

TR-1のコントロールとソフトウェアのコントロールのMIDIアサインが間違って割り当てられている可能性があります。すべてのボリューム、フェーダーを動かし、マスターアウトやインプットフェーダー等のレベルがゼロになっていないかを確認し、またMUTEボタンがオンになっていたり、他のスイッチに割り当てられていたりしていないかを確認してください。

■サポート

TR-1に関するサポート及びカスタマーサービスについては、下記にお問い合わせ先にお問い合わせ頂くか、ウェブサイトFAQをご参照ください。

お問合せ先：　cs@vestax.jp
http://www.vestax.jp

主な仕様

電源電圧：5V(USB POWER)
消費電流：300mA
専用アダプター：DC 9V 500mA
外形寸法：359(W)×198(D)×35(H)[45(H)ノブ含む]
重量：2.6Kg

●製品の仕様、外観、システム環境条件は改良のため予告なく変更する場合があります。
●VestaxはVestax Corporationの登録商標です。
●ここに記載されている他のすべての商標または登録商標はそれぞれの所有者に属します。

保証とアフターサービス

保証書（別添付）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容ををよくお読みの後、大切に保管して下さい。

保証期間

お買い上げの日から１年です。

補修用性の迂患品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。

この期間は通産相の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

●製品の使用の問合せ及びサポート
お問い合わせ：cs@vestax.jp
web: http://www.vestax.jp

●修理に関するご相談並びにご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼下さい。
（保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。）

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示下さい。
保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

ご相談の上修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。見積りが必要な場合はあらかじめお伝え下さい。

お買い上げの日

お買い上げ店名

電話　（　　　）　-

JUL.2009_TR-1_① EJ

Vestax Corporation